



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 日本電子材料株式会社
コード番号 6855 URL <https://www.jem-net.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 輝久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門統括部長 (氏名) 石本 浩久
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月11日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6482-2007

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	17,461	16.0	870	72.8	1,007	69.8	622	76.2
2023年3月期	20,781	11.9	3,205	35.3	3,338	34.4	2,612	31.3

(注) 包括利益 2024年3月期 900百万円 (69.2%) 2023年3月期 2,922百万円 (28.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	49.32		2.5	3.0	5.0
2023年3月期	207.25		11.3	10.2	15.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	34,769	24,670	71.0	1,953.43
2023年3月期	32,691	24,242	74.2	1,922.55

(参考) 自己資本 2024年3月期 24,670百万円 2023年3月期 24,242百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2,315	2,202	879	13,626
2023年3月期	3,348	849	1,582	12,497

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		20.00		20.00	40.00	504	19.3	2.2
2024年3月期		20.00		20.00	40.00	505	81.1	2.1
2025年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		31.6	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	18.7	700		660	330.1	450	431.3	35.65
通期	21,000	20.3	2,400	175.7	2,200	118.5	1,600	157.0	126.75

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	12,644,938 株	2023年3月期	12,625,314 株
期末自己株式数	2024年3月期	15,857 株	2023年3月期	15,800 株
期中平均株式数	2024年3月期	12,623,072 株	2023年3月期	12,603,243 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	14,341	14.5	49	97.6	415	83.3	251	87.4
2023年3月期	16,770	15.6	2,054	47.4	2,488	41.9	1,986	38.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	19.89	
2023年3月期	157.61	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	30,429	20,963	68.9	1,659.91
2023年3月期	28,438	21,180	74.5	1,679.75

(参考) 自己資本 2024年3月期 20,963百万円 2023年3月期 21,180百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(セグメント情報)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 15
(重要な後発事象)	P. 15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善と各種政策の効果により、緩やかな回復傾向が続きまし。海外経済につきましても、ユーロ圏では景気が弱含んでいるものの、全体的には緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、先進国を中心に経済成長率は低迷を続けており、世界的な金融引締めに伴う影響、中国経済の先行き懸念、物価上昇、中東情勢の緊迫化等により、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、急激に需要が高まっている生成AI向け等、一部では需要回復の兆しがありましたが、世界的な景気後退リスクが払拭されない中、スマートフォンやパソコンの需要低迷等の影響による半導体メーカーの在庫調整、設備投資抑制が継続する等、全体としては厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境の中、当連結会計年度の売上高につきましては、非メモリー向けプローブカードは、国内先行需要向けの拡販が進んだことにより、底堅く推移しましたが、メモリー向けプローブカードは、海外半導体メーカー向けの拡販が進んだものの、市場の冷え込みの影響による主要顧客の需要の落ち込みが大きかった為、前連結会計年度を下回る結果となりました。利益面につきましても、年明け以降は、売上高の増加に伴う工場稼働率の改善及び高付加価値製品の受注、並びにコスト削減等により回復傾向となったものの、年間を通じての売上高の減少の影響を補うことは出来ず、前連結会計年度を下回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は17,461百万円（前連結会計年度比16.0%減）、営業利益は870百万円（前連結会計年度比72.8%減）、経常利益は1,007百万円（前連結会計年度比69.8%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては622百万円（前連結会計年度比76.2%減）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりです。

a. 半導体検査用部品関連事業

半導体検査用部品関連事業につきましては、非メモリー向けプローブカードは、国内先行需要向けの拡販が進んだことにより、底堅く推移しましたが、メモリー向けプローブカードは、海外半導体メーカー向けの拡販が進んだものの、市場の冷え込みの影響による主要顧客の需要の落ち込みが大きかった為、売上高は前連結会計年度を下回る結果となりました。利益面につきましても、年明け以降は、売上高の増加に伴う工場稼働率の改善及び高付加価値製品の受注、並びにコスト削減等により回復傾向となったものの、年間を通じての売上高の減少の影響を補うことは出来ず、前連結会計年度を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高17,233百万円（前連結会計年度比16.0%減）セグメント利益は1,952百万円（前連結会計年度比54.5%減）となりました。

b. 電子管部品関連事業

電子管部品関連事業につきましては、売上高227百万円（前連結会計年度比10.8%減）、セグメント利益は13百万円（前連結会計年度比7.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,077百万円増加し、34,769百万円となりました。

これは主として、売掛金が344百万円、原材料及び貯蔵品が219百万円減少しましたが、現金及び預金が1,438百万円、仕掛品が237百万円、建設仮勘定が800百万円増加したこと等によるものであります。

②負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,650百万円増加し、10,099百万円となりました。

これは主として、短期借入金が500百万円減少しましたが、1年内返済予定の長期借入金が271百万円、社債が900百万円、長期借入金が704百万円増加したこと等によるものであります。

③純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ427百万円増加し、24,670百万円となりました。

これは主として、利益剰余金が117百万円、為替換算調整勘定が273百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,128百万円増加し、当連結会計年度末には13,626百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、2,315百万円（前連結会計年度比30.9%減）となりました。

これは主として、仕入債務の減少220百万円、法人税等の支払額111百万円等による減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益1,007百万円、減価償却費1,065百万円、売上債権の減少398百万円等による増加要因があったことによります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、2,202百万円（前連結会計年度は849百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、定期預金の払戻による収入472百万円等による増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出1,918百万円、定期預金の預入による支出771百万円等による減少要因があったことによります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は、879百万円（前連結会計年度は1,582百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、短期借入金の減少500百万円、長期借入金の返済による支出1,023百万円、配当金の支払額503百万円等による減少要因があったものの、長期借入れによる収入2,000百万円、社債の発行による収入984百万円等による増加要因があったことによります。

(4) 今後の見通し

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、中長期的には、デジタル社会への移行が世界中で進む中、半導体は、様々な製品やサービスにおいて需要の拡大が予想されており、それらを背景として、新たな半導体工場の建設等、半導体製造基盤の確保・強化に向けた動きも広がっております。一方で、足元では、世界的な金融引締めに伴う影響、中国経済の先行き懸念、物価上昇、中東情勢の緊迫化等により、世界的な景気後退リスクが払拭されない中、不確実性の高い事業環境が続いております。半導体市場につきましても、生成AI向けについては需要が拡大する一方で、スマートフォン向けについては不透明感が続くなど、一様ではない状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、非メモリー向けは、引き続き国内先行需要向けを中心に経済状況の回復とともに緩やかな回復を予想しております。メモリー向けは、需要の回復が先行している海外半導体メーカー向けの拡販を進めるとともに、市場全体につきましても年度後半は段階的な需要の回復を予想しております。

以上を踏まえ、次期（2025年3月期）の通期連結業績予想の見通しにつきましては、売上高21,000百万円、営業利益2,400百万円、経常利益2,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,600百万円を見込んでおります。

なお、上記予想は本資料の発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとする情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる場合があるほか、予想自体についても今後変更することがあります。

また、当社は「2024-2026年度JEMグループ中期経営計画」（対象期間：2025年3月期～2027年3月期）を策定いたしました。詳細につきましては、本日公表の「中期経営計画策定に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準による連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,779	14,217
受取手形	—	1
電子記録債権	1,207	1,308
売掛金	6,875	6,530
有価証券	30	34
製品	441	384
仕掛品	1,012	1,249
原材料及び貯蔵品	2,298	2,079
その他	362	349
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	24,994	26,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,265	4,620
減価償却累計額	△1,917	△2,056
建物及び構築物(純額)	2,348	2,563
機械装置及び運搬具	9,487	10,194
減価償却累計額	△6,505	△7,138
機械装置及び運搬具(純額)	2,982	3,055
工具、器具及び備品	2,649	2,647
減価償却累計額	△2,392	△2,403
工具、器具及び備品(純額)	256	244
使用権資産	514	566
減価償却累計額	△259	△348
使用権資産(純額)	255	217
リース資産	—	94
減価償却累計額	—	△3
リース資産(純額)	—	90
土地	639	639
建設仮勘定	284	1,084
有形固定資産合計	6,767	7,896
無形固定資産		
その他	202	186
無形固定資産合計	202	186
投資その他の資産		
投資有価証券	66	71
関係会社株式	118	118
繰延税金資産	327	194
その他	216	160
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	727	543
固定資産合計	7,697	8,626
資産合計	32,691	34,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	0	—
電子記録債務	1,014	1,026
買掛金	1,275	1,152
設備電子記録債務	119	323
短期借入金	500	—
1年内償還予定の社債	—	100
1年内返済予定の長期借入金	906	1,178
未払法人税等	—	142
賞与引当金	507	471
未払金	196	242
未払費用	480	490
その他	492	391
流動負債合計	5,493	5,519
固定負債		
社債	—	900
長期借入金	2,775	3,480
その他	180	199
固定負債合計	2,955	4,580
負債合計	8,449	10,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,053	3,069
資本剰余金	3,272	3,289
利益剰余金	17,509	17,626
自己株式	△15	△16
株主資本合計	23,819	23,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	6
為替換算調整勘定	419	693
その他の包括利益累計額合計	422	700
純資産合計	24,242	24,670
負債純資産合計	32,691	34,769

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	20,781	17,461
売上原価	13,393	12,217
売上総利益	7,388	5,243
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	915	980
賞与引当金繰入額	2	59
退職給付費用	15	16
減価償却費	51	57
研究開発費	1,498	1,634
その他	1,699	1,624
販売費及び一般管理費合計	4,183	4,373
営業利益	3,205	870
営業外収益		
受取利息	9	25
受取配当金	21	22
為替差益	98	64
材料屑売却益	22	52
その他	14	25
営業外収益合計	167	190
営業外費用		
支払利息	25	27
社債利息	—	0
社債発行費	—	15
固定資産廃棄損	5	2
その他	4	8
営業外費用合計	35	53
経常利益	3,338	1,007
特別利益		
補助金収入	126	—
特別利益合計	126	—
税金等調整前当期純利益	3,465	1,007
法人税、住民税及び事業税	815	248
法人税等調整額	37	136
法人税等合計	853	384
当期純利益	2,612	622
親会社株主に帰属する当期純利益	2,612	622

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,612	622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	3
為替換算調整勘定	310	273
その他の包括利益合計	310	277
包括利益	2,922	900
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,922	900

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,036	3,255	15,401	△15	21,677
当期変動額					
新株の発行	17	17			34
剰余金の配当			△503		△503
親会社株主に帰属する当期純利益			2,612		2,612
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	17	17	2,108	△0	2,142
当期末残高	3,053	3,272	17,509	△15	23,819

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2	109	111	21,788
当期変動額				
新株の発行				34
剰余金の配当				△503
親会社株主に帰属する当期純利益				2,612
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	310	310	310
当期変動額合計	0	310	310	2,453
当期末残高	2	419	422	24,242

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,053	3,272	17,509	△15	23,819
当期変動額					
新株の発行	16	16			32
剰余金の配当			△504		△504
親会社株主に帰属する当期純利益			622		622
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	16	16	117	△0	150
当期末残高	3,069	3,289	17,626	△16	23,969

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2	419	422	24,242
当期変動額				
新株の発行				32
剰余金の配当				△504
親会社株主に帰属する当期純利益				622
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3	273	277	277
当期変動額合計	3	273	277	427
当期末残高	6	693	700	24,670

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,465	1,007
減価償却費	1,108	1,065
株式報酬費用	26	33
補助金収入	△126	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	73	△36
受取利息及び受取配当金	△31	△48
支払利息	25	27
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産廃棄損	5	2
売上債権の増減額 (△は増加)	2,139	398
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△258	110
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	47	△21
仕入債務の増減額 (△は減少)	△981	△220
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△62	51
その他	△32	37
小計	5,396	2,404
利息及び配当金の受取額	31	48
利息の支払額	△25	△26
補助金の受取額	126	—
法人税等の支払額	△2,181	△111
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,348	2,315

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△0	△1
有形固定資産の取得による支出	△921	△1,918
有形固定資産の売却による収入	0	3
貸付けによる支出	—	△1
貸付金の回収による収入	22	54
定期預金の預入による支出	△281	△771
定期預金の払戻による収入	412	472
その他の支出	△109	△53
その他の収入	27	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△849	△2,202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	△500
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,511	△1,023
社債の発行による収入	—	984
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△502	△503
リース債務の返済による支出	△69	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,582	879
現金及び現金同等物に係る換算差額	107	135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,024	1,128
現金及び現金同等物の期首残高	11,473	12,497
現金及び現金同等物の期末残高	12,497	13,626

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の種類、性質、製造方法等の共通性に基づき、「半導体検査用部品関連事業」及び「電子管部品関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

各事業の主要な製品は次のとおりであります。

事業区分	主要製品
半導体検査用部品関連事業	<カンチレバー型プローブカード> Cタイププローブカード CEシリーズ <アドバンストプローブカード> Vタイププローブカード VTシリーズ(垂直接触型プローブカード) VSシリーズ(垂直スプリング接触型プローブカード) VEシリーズ(垂直+カンチレバー複合型プローブカード) Mタイププローブカード MCシリーズ MLシリーズ MTシリーズ
電子管部品関連事業	陰極、フィラメント

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	半導体検査用 部品関連事業	電子管部品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,526	255	20,781	—	20,781
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,526	255	20,781	—	20,781
セグメント利益	4,287	12	4,300	△ 1,094	3,205
その他の項目					
減価償却費	1,085	—	1,085	22	1,108

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
- (2) 減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る償却額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。
4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはしていないため記載しておりません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	半導体検査用 部品関連事業	電子管部品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,233	227	17,461	—	17,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,233	227	17,461	—	17,461
セグメント利益	1,952	13	1,966	△ 1,095	870
その他の項目					
減価償却費	1,040	—	1,040	24	1,064

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
- (2) 減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る償却額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。
4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはしていないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,922.55円	1,953.43円
1株当たり当期純利益	207.25円	49.32円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,612	622
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,612	622
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,603	12,623

(重要な後発事象)

該当事項はありません。